

事業番号	07 04 14	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域ワイン分析ラボ整備事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-1 次世代産業創出			課・局・室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室	
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出			E-mail	<a href="mailto:jizake@pref.nagano.lg.jp">jizake@pref.nagano.lg.jp</a>	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	H28 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換					

## 1 事業の概要

目指す姿	県内ワイナリーのニーズに対応した分析体制の整備をモデル的に支援し、他地域へ波及させることで、県産ワインの高品質化を促進させる。		
現状 (予算編成時)	醸造に適したタイミングでぶどうを収穫するためには、成分分析による数値データを総合的かつ迅速に解析する必要があるが、現状では、成分分析を実施していないワイナリー・農家も多く、ぶどうを自身の勘や経験のみで収穫している。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 ワイン醸造に関する技術支援は、県が提唱した信州ワインバレー構想に基づくものであり、県の関与は必要。
	県民との協働による実施： 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)				
	ワイン分析ラボ整備支援地域数: 1地域				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
ぶどう成分分析体制の整備	補助	信州大学の東御市での千曲川ワイン分析センター整備を助成し、科学的データに基づいたぶどうの収穫最適判断を支援。	0	5,680	1,000
合計			0	5,680	1,000

事業コスト	区	分 (単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越		5,680			項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	0	0	1,000	目標				成果	達成状況		
		補正予算	5,680	0		整備支援地域数	-	-	1	1	達成	-	
		合計(A)	5,680	5,680	1,000								
	Aの財源	一般財源	0	0	500								
		県債											
		国庫支出金	5,680	5,680	500								
		その他	0	0	0								
	ト	決算額(B)		5,680									
概算人件費	職員数(人)	0	0.1	0.1									
	概算人件費(C)	0	791	791									
	概算事業費(B(A)+C)	0	6,471	1,791									

目標に対する成果の状況	東御市近郊のぶどうを成分分析し、収穫へのアドバイスをを行うとともに、データを集積して、今後醸造されるワインの官能評価に備えた。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 設置したワイン分析センターの効果検証を行い、他地域への波及を目指す。
--------------------	---